

— はじめに —



昨年 2021 年は「気候危機」とも言われる気候変動問題において、国内外の政策が劇的な変化を遂げ、カーボンニュートラルに向けて大きく前進した年でした。

我が国では、2021 年 6 月に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、「2050 年カーボンニュートラル」が基本理念として法定化されました。

また、同年 11 月に開催された「国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（COP26）」では、「今世紀半ばでの温室効果ガス実質排出ゼロ及びその通過点である 2030 年に向けて野心的な気候変動対策を締約国に求める。」との合意がなされ、世界各国でも、2050 年までのカーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がっています。

しかしながら、このカーボンニュートラルという高い目標を実現するためには、これまでの取組を着実に進めるだけでなく、これまでの延長上にはない革新的なイノベーションを起こす具体的な脱炭素型のプロジェクトの創出が必要です。そこで、本県では、温室効果ガスの排出削減等に資する事業・企画アイデアの募集を開始し、現在、その中から選定した 2 つのプロジェクト（矢作川カーボンニュートラルプロジェクト、アジア競技大会選手村後利用事業における「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり」プロジェクト）について、事業化に向けた取組を支援しています。

加えて、地球温暖化対策に貢献するエネルギーとして期待される水素の利活用を促す取組や、発電所・鉄鋼・化学工業等が立地する臨海部で進めるカーボンニュートラルポートの形成、環境改善効果のある事業に用途を限定したグリーンボンド（県債）の発行など、カーボンニュートラルの実現に向けた新たな取組も進めています。

また、気候変動と密接に関係する天然資源の枯渇問題や、プラスチックごみによる海洋汚染なども喫緊の課題であり、資源循環の取組を加速化していく必要があります。そこで、本県では、「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」を 2022 年 3 月に策定し、従来の 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組に加えて、資源を有効に循環利用し、資源投入量、廃棄物発生量を限りなく小さくするサーキュラーエコノミー（循環経済）への転換を図っていくこととしています。

こうしたことを踏まえ、今回の環境白書の「特集 1」では「カーボンニュートラルの実現に向けて」を、「特集 2」では「サーキュラーエコノミーが浸透した循環型社会の形成に向けて」を紹介します。

この環境白書が、愛知の環境についての理解を深め、また、県民、事業者、関係団体の皆様がそれぞれの立場から環境をよりよくするための取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

2022 年 12 月

愛知県知事 大村秀章

目次

第1部特集

特集1 カーボンニュートラルの実現に向けて

～地域の総力を挙げて、加速する取組～ 1

特集2 サーキュラーエコノミーが浸透した循環型社会の形成に向けて

～「愛知県廃棄物処理計画」と「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」～ 9

第2部 令和3年度の環境の状況と施策

第1章 地球温暖化等 19

第1節 地球温暖化 19

第2節 オゾン層保護とフロン類対策 30

第2章 大気環境 32

第1節 環境の状況 32

第2節 大気環境保全に関する施策 38

第3章 交通環境 40

第1節 自動車交通環境 40

第2節 航空機騒音 48

第3節 新幹線鉄道騒音・振動 49

第4章 生活環境（騒音、振動、悪臭） 50

第1節 概況 50

第2節 騒音・振動 50

第3節 悪臭 53

第5章 水環境 55

第1節 環境の状況 55

第2節 水環境保全に関する施策 64

第6章 土壌環境 83

第1節 環境の状況 83

第2節 土壌汚染防止のための施策 83

第7章 地盤環境 85

第1節 環境の状況 85

第2節 地盤環境保全に関する施策 87

第8章 廃棄物・資源循環 88

第1節 環境の状況 88

第2節 廃棄物・資源循環に関する施策 93

第9章 自然環境・生物多様性	115
第1節 環境の状況	115
第2節 自然環境保全に関する施策	116
第3節 生物多様性の保全と施策	136
第10章 環境リスク	143
第1節 化学物質の適正管理	143
第2節 ダイオキシン類対策	146
第3節 内分泌かく乱化学物質	148
第4節 環境放射能	149
第11章 人づくり・環境学習等	154
第1節 人づくりの推進	154
第2節 環境学習等の推進	159
第3節 SDGs 達成に向けた「人づくり」の推進	162
第4節 国際環境協力の推進	165
第12章 環境における各種基盤施策	166
第1節 公害の防止、健康被害者の救済	166
第2節 環境影響評価の実施	171
第3節 企業の環境保全活動の支援	174
第4節 県の事務・事業における環境配慮の推進	175
第5節 環境に関する調査・研究	177
第13章 第5次愛知県環境基本計画の進捗状況	183

資料編

大気環境	(1)
騒音・振動・悪臭	(11)
水環境	(17)
土壌環境・地盤環境	(33)
廃棄物・資源循環	(41)
自然環境	(43)
組織・法体系等	(49)
環境行政年表	(55)

クローズアップ 目次

- ・国際ロータリー第 2760 地区からの環境保全基金への寄附に対して知事から感謝状をお渡ししました 23
- ・「木材利用の促進に関する基本計画」を策定しました 28
- ・EV・PHV・FCV を活用した避難所開設訓練・あいち自動車ゼロエミッション化加速フォーラムを開催しました 42
- ・太陽光発電・直流技術を用いた直流スマートファクトリーの実現に関する支援を行いました . . . 43
- ・三河湾における水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型を指定しました 59
- ・「水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」を実施しています 71
- ・三河湾の環境保全を啓発するデザインの缶ビールが発売されました 73
- ・2021 年度水質パトロール隊の優秀グループを表彰しました 76
- ・「ワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみ削減取組」の表彰制度を創設しました 101
- ・「第 55 回全国野生生物保護活動発表大会」において豊田市立滝脇たきわき小学校が環境大臣賞を受賞しました 122
- ・「令和 4 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において愛知県選考作品が「公益財団法人日本鳥類保護連盟総裁賞」と「環境大臣賞」を受賞しました 123
- ・GAIAガイアが「生きもの探検スタンプラリー」を開催しました 138
- ・愛知県とブラジル・サンパウロ州のユースによる「オンラインユース交流プログラム」を実施しました 142
- ・もりの学舎まなびやでは自然体感プログラムを実施しています 160
- ・SDGs 推進フェア「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催しました 163
- ・「あいち SDGs 環境プラットフォーム」を開設しました 164
- ・「2021 愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催しました 180
- ・「気候変動影響・適応研究会」を開催しています 181

凡例

- ◆ 年（年度）の表記は、原則として西暦を使用し、公的文書の引用等の場合は和暦を使用しています。